

受験番号

1 (1) 4 点、(2) 4 点、(3) 4 点× 2 = 8 点、(4) 3 点× 5 = 1 5 点、(5) 3 点× 2 = 6 点

(1)	ランドルト環				(2)	(例) 視野障害 (視野狭窄) 光覚障害 (夜盲、暗順応障害、羞明、明順応障害) 色覚障害							
(3)	①	点字			②	拡大							
(4)	①	ア	②	ケ	③	オ	④	コ	⑤	ク	(5)	ア	エ

2 (1) 3 点× 4 = 1 2 点、(2) 4 点 (3) 4 点× 3 = 1 2 点、(4) 6 点× 2 = 1 2 点、(5) 4 点

(1)	①	ウ	②	オ	③	ア	④	カ	(2)	重複障害
(3)	病気等の有無や状態、成育歴、基本的な生活習慣、人やものとのかわり、心理的な安定の状態、コミュニケーションの状態、対人関係や社会性の発達、身体機能、視機能、聴覚機能、知的発達や身体発育の状態、興味・関心、障害の理解に関すること、学習上の配慮事項や学力、特別な施設・設備や補助用具の必要性、進路、家庭や地域の環境、長所や得意なこと等から3つ									
(4)	(ア)	(解答例) ・活動の流れや時間を視覚的に捉えられるようなスケジュールや時計などを示し、時間によって活動時間が区切られていることを理解できるようにする。 ・残り時間を確認しながら、活動の一覧表に優先順位をつけたりするなどして、適切に段取りを整えられるようにする。								
	(イ)	(解答例) ・粗大運動や微細運動を通して、全身及び身体の各部位を意識して動かしたり、身体の各部位の名称やその位置などを言葉で理解したりするなど、自分の身体に対する意識を高めながら、自分の身体が基点となって位置、方向、遠近の概念の形成につなげられるように指導する。								
(5)	イヤーマフ									

その 1 小計

合計

3 (1) 4点×4＝16点、(2) 4点×2＝8点、(3) 8点、(4) 4点×2＝8点

(1)	①	言語障害	②	弱視			
	③	学習障害	④	注意欠陥多動性障害	(2)	ア	エ
(3)	(解答例) 学校や教育相談機関等は、保護者が子どもの知的障害を的確に把握し、それに即した教育の方針が考えられるよう、教育相談を行いながら個別の教育支援計画を作成し、子どもの障害の状態を総合的に把握すること。						
(4)	①	かん黙	②	通常の学級			

4 (1) 4点×4＝16点、(2) 4点×4＝16点、(3) 4点、(4) 4点

(1)	①	職業観		②	主体的		
	③	計画的		④	実習		
(2)	①	医療					
	②	(A)	ウ	(B)	エ	(C)	イ
(3)	ア		(4)	(障害者) トライアル雇用			

5 (1) 3点×4＝12点、(2) 6点×2＝12点、(3) 3点×5＝15点

(1)	①	カ	②	ア	③	オ	④	ウ			
(2)	(例) 板書の色分けや図や絵などを取り入れ、注目しやすいようにする。 教材等を拡大して提示する。 見る範囲を限定して注目する部分を示す。 スリットなどの読みやすくするための自助具の使用や工夫を認める。 読み上げて説明する。ICT機器の読み上げ機能を活用する。										
(3)	ア	○	イ	×	ウ	○	エ	×	オ	○	

その2小計